

会 議 録

1 会議名

令和5年度第3回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

ア 清里区におけるビレッジプランの取組概要について

(2) 協議事項（公開）

ア 地域活性化の方向性について

(3) その他（公開）

3 開催日時

令和5年6月29日（木）午後3時00分から午後4時10分まで

4 開催場所

清里区総合事務所 3階 第3会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、竹田恵理子、笹川重作、羽深正、
佐々木勝峰、保坂幸男、堀川敏子、松永誠一、横山芳一
- ・事務局：清里区総合事務所 佐藤所長、岩崎次長、横山市民生活・福祉グループ長
（併教育・文化グループ長）、近藤班長、田村主査

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

会議の開会を宣言

桑原正史委員、向橋マチ子委員の欠席を報告

上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告する。

【古澤会長】

挨拶

【佐藤所長】

挨拶

【古澤会長】

会議録の確認を横山芳一委員にお願いする。

次第4「報告事項」に入る。

「清里区におけるビレッジプランの取組概要について」上越地域振興局及び板倉区総合事務所から説明を求める。

【関根グループ長】

資料1-2により説明

【小川課長代理】

資料1-1により説明

【古澤会長】

ただ今の説明について、皆さんから質問等はあるか。

【堀川委員】

重点的に取り組む項目に取組主体がそれぞれ記載されている。住民自身が主体的に動くことが望ましいと思うが、核となる人材をどのように考えているか聞きたい。

【小川課長代理】

地域の活動を進めていくうえで、核となる人材の育成は大きな課題の一つである。

今年から具体的な取組を行っていくが、最終的には中核となる人材や組織を育成していきたいと考えている。

中核を担う候補者は、自発的に活動に参加してくるものであって、私どもから声を掛けて参加してもらうのでは意味がない。活動を通じて地域の中から自然と出てきてくれることを願っている。

【松永委員】

農業を基幹的な産業として捉えているが、清里区の農業はどれだけの生産額があるのか。農業で清里区の住民を経済的に養うのは無理ではないか。生産額を把握したうえで、農業を中心に考えられた計画なのか。

【小川課長代理】

ビレッジプランは、県の農林振興部という農業を管轄する部署が担当しているので、農業を中心とした記載が多くなっている。実際検討するメンバーの半数以上は、農業を生業としていない方で、検討内容も農業に限定したものではなく、地域全体を發展させるための取組としてビレッジプランの計画は考えられている。

清里区は中山間地を含め、農業が衰退しては地域が守れないという考えから、農業が重要な位置付けとされた計画となっている。

【佐藤所長】

ビレッジプランの目的は、10年後の地域が目指す姿と、そこに向けた取組を表したものである。清里区はこれまで農業があって栄えてきており、現在も農業を生業として暮らしている方が多いということ。農業が廃れ、人がいなくなり、地域の環境が悪くならないよう、地域全体の元気がなくなってしまうことのないよう考えたときに、農業に取り組む人を何とか確保していきたい、地域の農業を維持して繋げていきたい、ということがビレッジプランの目的となっている。

農業に携わる人だけでなく、清里区住民全体で農業の将来を考えた計画がビレッジプランである。

【古澤会長】

ビレッジプランは100%県の予算なのか。

【佐藤所長】

県が実施する事業であるため、予算措置は県となっている。地域おこし協力隊や市も関わっており、資料にあるように、中山間地域の農業について、他の地域でも同様に検討が進められている。

【古澤会長】

次第5「協議事項」に移る。

「地域活性化の方向性について」事務局から説明を求める。

【近藤班長】

資料2により説明

【古澤会長】

「構成要素」の順番や内容、項目数について、意見等はあるか。

項目数については、「自然環境を生かした取組の充実」を含めた6項目としてよいか。

【笹川委員】

構成要素が5項目と6項目で何か違いはあるのか。

【古澤会長】

参考ではあるが、4区地域協議会委員合同研修会の資料の中で、6項目としている他の区もあった。5項目と6項目で特別の違いはない。

【松永委員】

構成要素の「農業を軸とする」という表現は、これでよいか疑問に思う。農業が基幹産業という位置付けになってしまうが、現実問題として清里区はそういう姿ではない。農業に反対するわけではないが、「農業を軸とする」という表現は疑問である。

【古澤会長】

清里区は、「^{いち}一農場化」の計画がある。基幹産業である「農業を軸とする」とした考え方でよいのではないか。

【堀川委員】

農業を生業としている方もいれば、生きがいとして取り組まれている方もいる。「農業を軸とする」表現でよい。

【保坂委員】

構成要素の「農業を軸とする」という表現は、農業体験や農業に関するイベントなど、農業を通じて交流人口が拡大されることを意味しているものであり、実際に耕作する場面もあるかもしれないが、表現に問題はない。

【佐々木委員】

清里区は農業公社が主体的に動いている。その中で、農業体験や農業に関するイベントなど、田んぼが広く機械化されていて農業体験など難しいのではないか。「農業を軸とする」にしても、コメ作り体験は無理ではないか。畑での農業体験は可能と考えるが。

【笹川委員】

畑作も農業である。

【保坂委員】

イメージ的に農業とはコメ作りを想像するが、構成要素で表現している農業は、稲作や畑作といった一般的な農業として考えるべきである。

【笹川委員】

清里区の農家は、田んぼだけでなく畑もやっている。

【山川副会長】

大区画圃場整備が始まるが、すべて大きくしなくても、田んぼを生きがいにしている人が何人か集まれば、1反の区画の田んぼが整備できると聞いている。

【古澤会長】

清里区は農業公社を中心に、櫛池地区では約200町歩を耕作している。清里区の基幹産業は農業であることから、「農業を軸とする」としていいのではないか。

【佐藤所長】

参考資料の左側にあるように、皆さんから提出いただいた意見をまとめると、農業に関する意見が多かったので、事務局として「農業を軸とする」と表現したもの。

【古澤会長】

次に、「地域活性化に向けて」、1案と2案の説明について、意見等はあるか。

【山川副会長】

1案は、「風光明媚」や「中山間地域」が入っていて、平場のことが抜けている感があるので、2案がよい。

【笹川委員】

強みと個性は、意味が違うのか。

【近藤班長】

どちらとも同じような意味合いである。

【堀川委員】

1案は、通り一遍的な感じがする。2案に「風光明媚」を入れた方がよい。

【松永委員】

1案がよいと考える。清里区が中山間地域であることは間違いない。これを個性というか特性という中で、中山間地域をマイナスとか困難に捉えるのではなく、中山間地域だからこそ、地域の活性化に向けて、その個性を活かした取り組みをしたらよい。

【保坂委員】

1案の気になるところは、坊ヶ池からの景色だけで風光明媚と言えるか。2案の「住んでみたい」は、ハードルが高いので、1案の「訪れてみたい」にした方がよい。

2案の「清里区の豊かな自然環境と地域資源という強みをいかして」と1案の「来訪者と地域住民の交流がさらに広がり」を繋げた方がよいと思う。

【古澤会長】

「中山間地域」は、使わない方がよい。

【堀川委員】

清里区全体が中山間地域であり、市内には他にも中山間地域がある。他の地域と一緒に考えられてしまうような表現にしない方がよい。

【笹川委員】

「風光明媚」と「中山間地域」は、硬い表現に感じる。「豊かな自然環境と地域資源」の方が柔らかい表現でよい。

【竹田委員】

2案がよい。「風光明媚」から坊ヶ池の夜景や景色が想像できるのだろうか。「豊かな自然環境と地域資源」の方が坊ヶ池を想像できる。

【古澤会長】

多数の意見をいただいた。その他、修正等がある場合は事務局に連絡することによいか。

【近藤班長】

事務局案として、1案と2案を説明したが、今の議論を踏まえて2案の「清里区の豊かな自然環境と地域資源という強みをいかして」の後ろに、1案の「来訪者と地域住民の交流がさらに広がり」を繋げたものを3案としたらどうか。

【古澤会長】

事務局から3案の提案があった。3案で検討してはどうか。

【近藤班長】

次回の地域協議会で3案を提案し、決定していただければと考える。

【堀川委員】

どうしても譲れないのは、訪れてもらうだけでは清里が元気に発展しないので、2案の「住んでみたい住み続けたいまち」にならないと清里区が本当の意味での元気にならない。

【保坂委員】

最終的には来てもらうだけでなく、いいところを見てもらって清里区に住んでみたいと思うことが将来的な目標だと思う。「住んでみたい住み続けたいまち」という方向性で考えてみると2案がよい。

【山川副会長】

最終的には、移り住んでもらうことが一番よいと思うが、ハードルが高すぎるのは、いかななものか。

【古澤会長】

本日の意見を参考に1案と2案のよいところを3案に反映し、次回の地域協議会で「地域活性化の方向性」を決定することによいか。

【佐藤所長】

改めて、3案を提案するとのことで、事務局も工夫したいと思うが、皆さんで作ったということに意味があるので、意見をいただきたい。

次回の地域協議会の開催前に、皆さんに提案することによいか。

【古澤会長】

「地域活性化に向けて」の意見は、各委員が7月14日（金）までに事務局へ提出し、次回の地域協議会の開催前に事務局から3案を提案してもらい、決定することでよいか。

構成要素については内容も含め、6項目とすることとし、これも次回決定することでよいか。

（委員了承）

【堀川委員】

構成要素の順番は、選択した委員が多い順番としているが、順番によって予算付けなど、不利になることはあるのか。構成要素に記載してあるものは予算付けが可能となるものなのか。

【佐藤所長】

構成要素は、清里区として大事にしたいものであり、記載内容や記載順などに関係なく、活動に必要な予算があれば地域独自の予算として提案することができる。

【古澤会長】

次第6「その他」に入る。

次回の令和5年度第4回清里区地域協議会について、7月27日（木）午後4時から、清里区総合事務所第3会議室で開催したいと思うが、よろしいか。

（委員了承）

【古澤会長】

その他、事務局から何かあるか。

【岩崎次長】

配布物の説明

【田村主査】

ビレッジプラン等の取組趣旨と概要を説明し、ご確認いただいたが、今年は3年目で検討会が継続している。今後、検討会の日程について可能な限りお知らせするので、都合のつく方は参加いただきたい。

【古澤会長】

その他、皆さんから何かあるか。

ないようなので、以上をもって第3回地域協議会を終了する。

最後に山川副会長から、閉会の挨拶をお願いします。

【山川副会長】

閉会の挨拶

9 問合せ先

清里区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。